

第4学年〇組 道徳学習指導案

指導者

- 1 主題名 友だちといっしょに 中学年2－(3) 信頼・友情
資料名 「力いっぱい走ろう」(ぬくもり)

2 主題設定の理由

○ 本主題は、「友達と互いに理解し、信頼し、助け合う。」ことを主なねらいとしている。子どもたちは人と力を合わせることの大切さは認識できているものの、毎日の生活の中で、ややもすると力を合わせることも、自分が上位にいることをよしとしたり、人のがんばりや優しさに気付かずに、通りすぎてしまうことが多いのではないかと思われる。

そこで、友だちのがんばりや力を出し切っている姿に気付くことができることや、友だちと力を合わせてやりとげることがいかに素晴らしいことであるのかを考えさせることは大変意義深いと考える。

○ 本学級の児童は、人はそれぞれ違ったよさを持っており、友だちが大切な存在であることと、みんなが協力していかなければ何事もなしえないことは理解できている。しかし、子どもたちがつながりを持って助け合っていく前に、勝ったか負けたかという二者のうちのひとつを結果として評価したがる傾向にある。特にチームで競争をするリレーのようなものではその価値観が前面に出てきやすい。また、得意なこと不得意なことをお互いに補い合っていくという考えの前に、相手の気持ちを考えずに、不用意なことばが出てしまうこともある。こういった見方を改め、どんなことにも自分の力を出し切ることのすばらしさと、それをお互いに認め合うことができる人間関係を大切に考えさせることは意義深いと考える。

○ 本資料では、学年のスポーツ集会でリレーをすることになり、学級会でチーム分けの話し合いをすることが取り上げられている。勝つことにこだわる子どもたちの中で、身体が不自由で速く走ることができない竜一は、悔しい気持ちをもちながら、下を向いてしまう。また走ることが得意な新吾は勝負に対して人一倍こだわりがあり、くじで竜一といっしょに組まされることに腹立ちを感じている。勝つことにこだわっていた新吾が、竜一ががんばって走っている姿を見て、自らを振り返り、ともにがんばっていこうとする気持ちに変わっていく内容である。

本時指導にあたっては、竜一が一生懸命走る姿を見て、新吾の気持ちが変わっていったことをとらえさせ、ねらいの価値にせまっていく。導入段階では運動会の写真を使って、自分たちもリレーの中で同じような経験をしてきたことを思い出させる。また、展開前段においては、道徳ノートの吹き出しに新吾の気持ちを書かせ、新吾の気持ちの変化をとらえさせる。さらには、展開後段において、友だちと協力したことや、友だちのがんばりを自分が見つけていたことなど、自分たちの今までの経験を振り返らせ、価値を内面的に自覚させるようにする。終末では、教師の話聞くことによって、本時の学習を振り返り、今後も友だちの気持ちを思いやろうとする気持ちを継続させていきたい。

3 本時のねらい

友だちの気持ちを考える大切さに気づき、力を合わせて助け合っていこうとする心情を養う。

- 4 本時 平成20年11月19日(水) 第5校時 第4学年〇組教室に於いて

5 地域との関連 (地域のひと・もの・ことの活用)

地域教材：ぬくもり

- 6 準備 資料「力いっぱい走ろう」、運動会の写真、挿絵、道徳ノート

7 展開

	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
導 入	<p>1 走っている写真を見て話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 一生懸命走っている。 ○ バトンを落とさないように気をつけている。 ○ 走る順番をみんなで考えてた。 <p style="text-align: center;">めあて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">力を合わせるときの心について考えよう</div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料への導入を図るために運動会のリレーの写真を使って、リレーは一人ではできない競技であることを思い出させる。
展 開 前 段	<p>2 資料「力いっぱい走ろう」を読んで話し合う。</p> <p>(1) 班でチームを作ると、びりになると言われていたときの「竜一」の気持ちを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ぼくだって速くはしりたいんだ。 ○ いつも一生懸命走っているのに。 <p>(2) くじで「竜一」と同じチームになったときの新吾の気持ちを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ぜったいに負ける。 ○ やる気がなくなった。 ○ だから班なんかいやだったんだ。 <p>(3) 一生懸命走る「竜一」のすがたをじっと見つめていた「新吾」の気持ちを考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">一生懸命走る「竜一」の小さな姿をじっと見つめていたとき、「新吾」はどんなことを考えていたでしょう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「竜一」があんなに一生けんめい走っている。ぼくもがんばろう。 ○ チームで力を合わせて走ればだいじょうぶだ。 ○ ようし、一生けんめい練習するぞ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「竜一」がうつむいて右手のこぶしを左の手のひらにこすりつけている時の様子を動作化させ、悔しい気持ちを考えさせる。 ○ 「新吾」の気持ちが考えやすいように「新吾」が走ることが得意であることに着目させる。 ○ 「新吾」の気持ちを理解させるために、道徳ノートの吹き出しに気持ちを書かせるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 「竜一」が一生懸命走っている気持ちに共感させるために、「首をふりながら」「ころびそうになって」ということばを意識させる。 また、「竜一」が同じ班はいやだと言われて悔しがっていた気持ちを振り返り、新吾が相手の気持ちを理解できていなかったことを意識できるようにする。
展 開 後 段	<p>3 自分の生活をふり返り、友だちと力を合わせることでできたことがないかを思い出し、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ みんなでいっしょに合奏を行った。 ○ 係活動を力を合わせてやっている。 ○ そうじもいっしょにがんばっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童が思い出しやすいように例を提示する。 ○ 友だちのことを想起しやすいように導入の時の写真をもう一度見せる。
終 末	<p>4 本時の学習を振り返り教師の話聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 友だちの気持ちを思いやることと力を合わせることの大切さへの意識の継続を図る。

8 板書計画

リレーの
写真

競争ゆうぎ
の写真

運動会のダン
スの写真

めあて

力を合わせるときの心について考えよう

力いっぱい走ろう

○びりになるから班はいやだと言われたときの竜一の気持ち

・ぼくだって速く走りたいんだ。
・いつも一生懸命走っているのに。

○竜一と同じチームになった新吾の気持ち

・ぜったいに負ける。
・やる気がなくなった。
・だから班なんかいやだったんだ。

○ころびそうになって走る竜一をみたときの新吾の気持ち

・竜一があんなに一生けんめい走っている。
・チームで力を合わせて走ればだいじょうぶだ。
・ようし、一生けんめい練習するぞ

友だちの気持ちを考えて力を合わせることができたこと

9 道徳ノート

道徳ノート

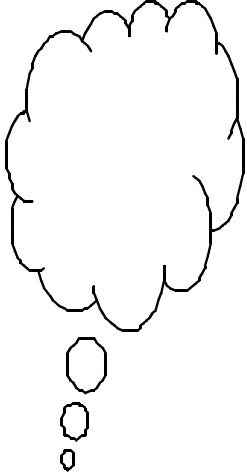
年 組

めあて

力を合わせるときの心について考えよう

力いっぱい走ろう

○ころびそうになって走る竜一をみたときの新吾の気持ち



○友だちの気持ちを考えて力を合わせたこと

--	--	--	--